

雲仙岳の火山活動解説資料（平成 20 年 7 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

7 月の活動概況

- ・噴煙など表面現象の状況（図 2）
噴煙は観測されませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）
火山性地震の発生は 1 回（6 月：1 回）と少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 4）
GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

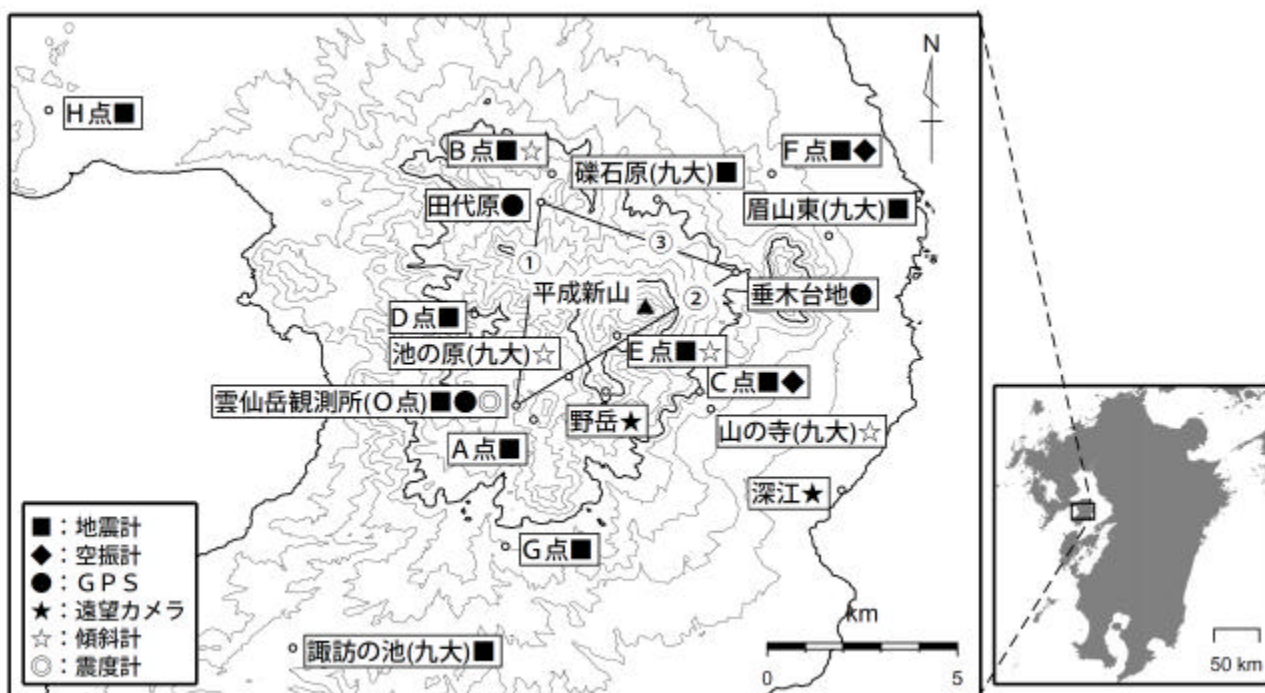


図 1 雲仙岳 観測点配置図

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータその他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 8 月分)は平成 20 年 9 月 10 日に発表予定です。

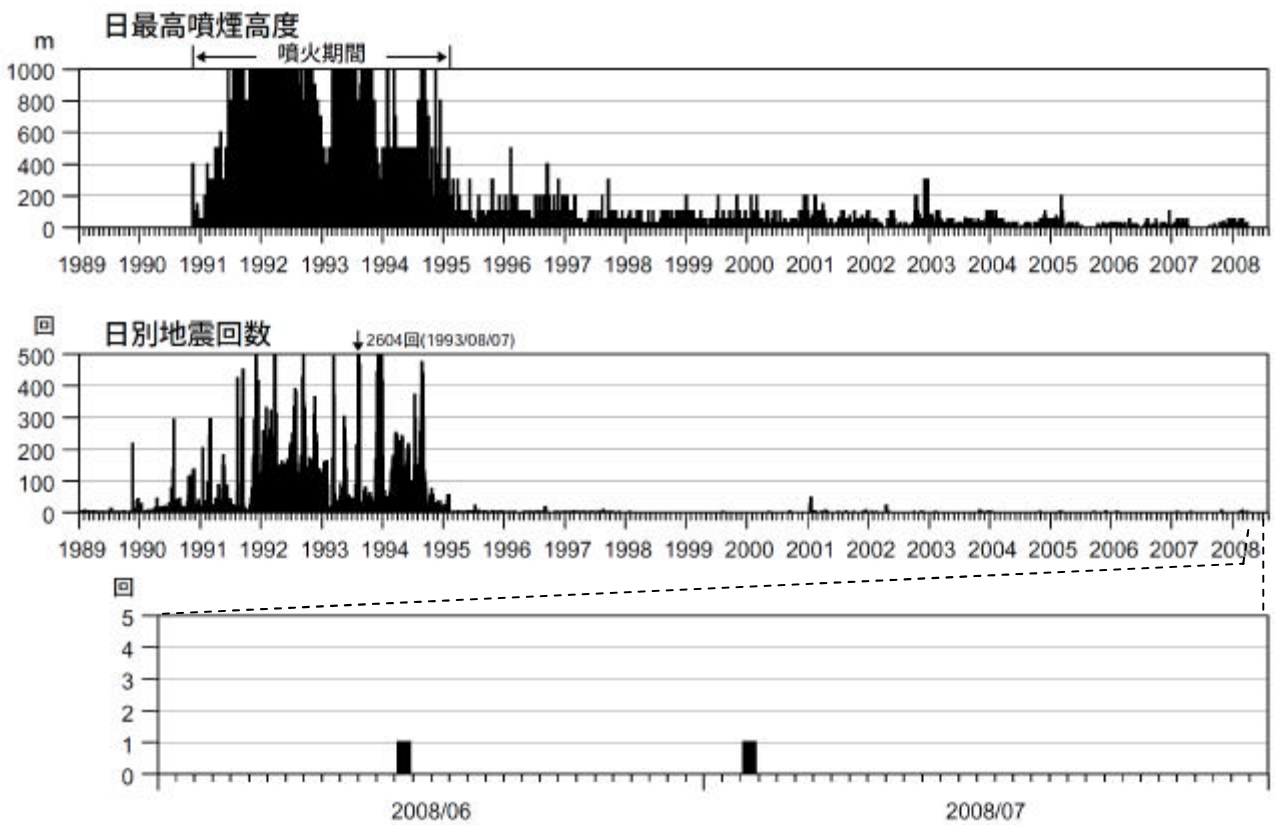


図2 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月~2008年7月)

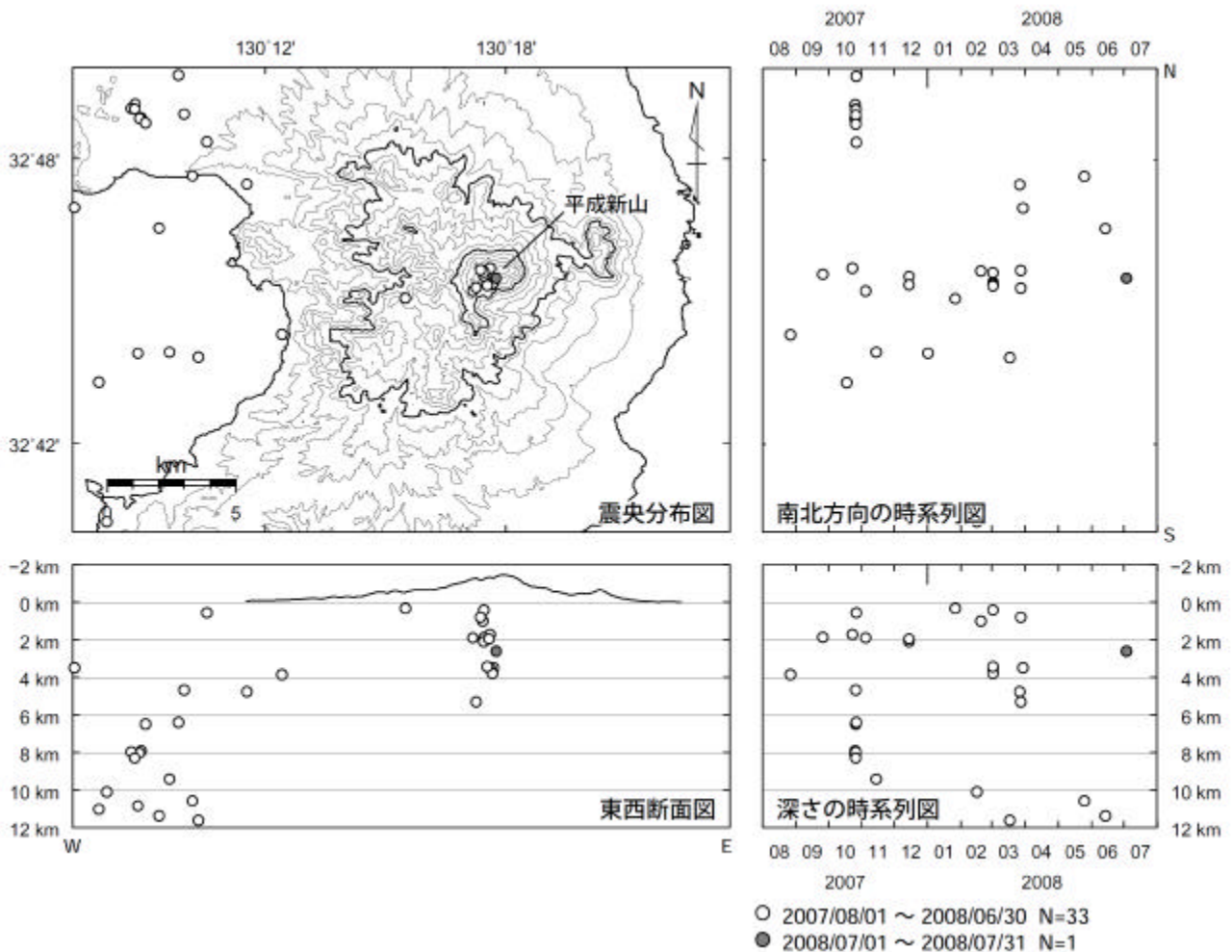


図3 雲仙岳 震源分布図(2007年8月~2008年7月)

今期間は、これまでと同様、平成新山直下の浅いところで発生しています。

雲仙岳

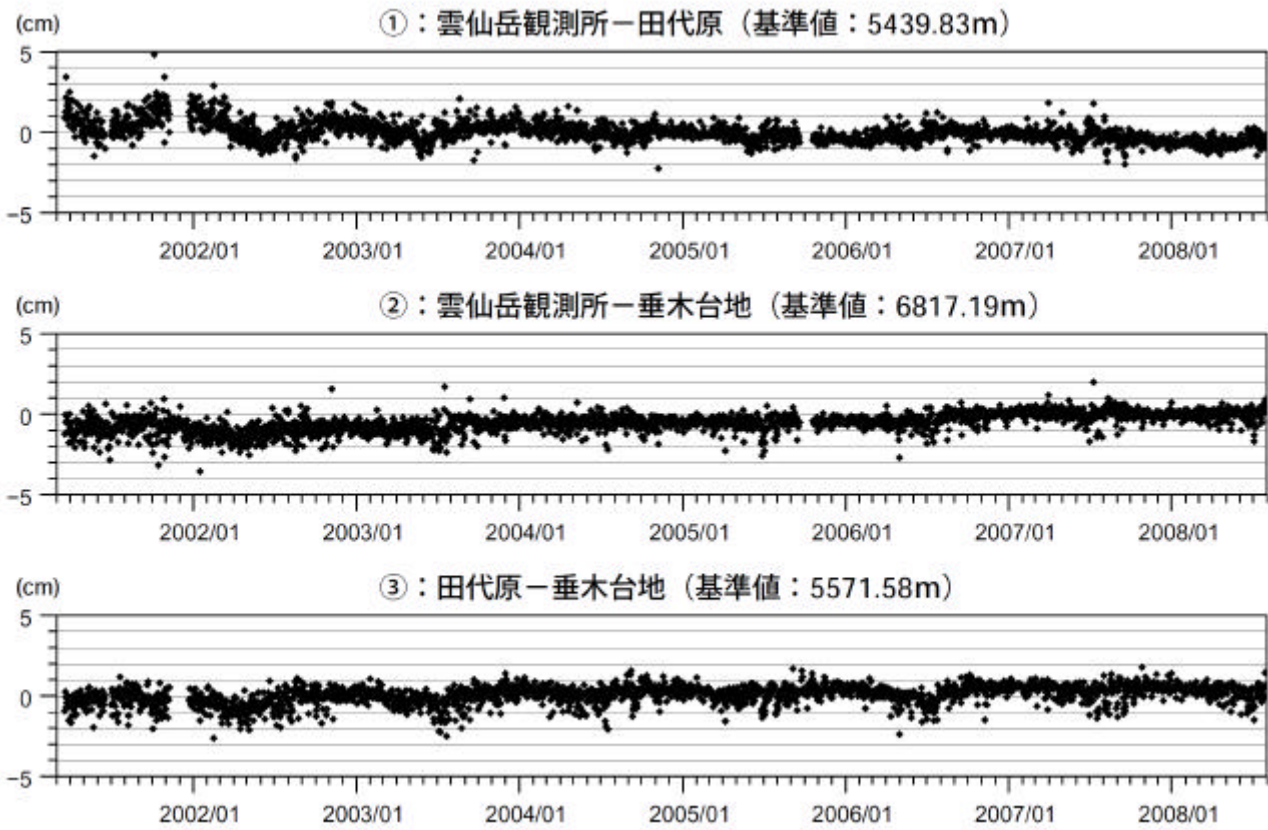


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日~2008年7月)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。